

2007



全国まちづくりフォーラム in 奥大井

2006



奥大井接岨湖フェスティバル

2005



川根本町誕生

① 町制施行(合併)10周年を迎えて

本年、川根本町は、町制施行10周年という節目を迎えました。この10年間で2町の融和が図られ、魅力ある町が形成されてきております。これまでの、皆さまの町政に対するご理解とご協力に、心から感謝申し上げます。

町制施行(合併)10周年
【町長メッセージ】

(③の続き)

とが大切です。これからも、町の豊かな自然や自然環境に育まれた生活文化を広く国内外に発信し、訪れる方々に、さまざまな体験を通して「ゆとり」や「やすらぎ」を感じていただけるようなプログラムを、充実させていきたいと考えております。

町制施行(合併)10周年の鈴木町長メッセージの動画を「かわねフォン」動画視聴と町ホームページでご覧いただけます。是非、動画もご確認ください。

川根本町長

2013



世界農業遺産認定
静岡の茶草場農法

2012



カヌー大村朱澄選手
ロンドン五輪2012出場

2011



第65回全国茶品評会
3年ぶりの産地賞獲得
個人入賞多数

2010



カヌー大村朱澄選手
第16回アジア競技大会
銀メダル、銅メダルを獲得

2009



第24回国民文化祭
神楽フェスティバル

2008



FSC 森林認証取得



② これまでの10年間を振り返って

この10年間、皆さまとともに、町の将来像「水と森の番人が創る癒しの里 川根本町」の実現に向け、取り組んできました。道路整備におきましては、国道362号・青部バイパス、上長尾バイパスの一部供用が開始され、施設整備におきましては、北部地域振興センター、農林業センターの地域資源交流活用施設が建設され、現在は情報通信基盤の整備が進められております。さらに、日本一の茶産地として、全国茶品評会において農林水産大臣賞をはじめとした数多くの賞を受賞し、複数回にわたり産地賞を獲得するなど、全国にその名を馳せております。

③ 世界に誇る地域資源

昨年、南アルプス国立公園とその周辺が「ユネスコエコパーク」に登録されました。これを機に、本州で唯一の原生自然環境保全地域をはじめとする、本町の雄大な自然を利活用し、後世に残していくための取り組みを行っていきたくと考えております。また、本町も構成地域として含まれている「静岡の茶草場農法」が世界農業遺産に認定され、高品質なお茶づくりに励んできた、茶農家の日頃の努力と誇りが認められました。交流や連携を推進していく上で、その地域が持つ多様な個性、伝統や文化を含む地域資源に対する自覚、誇りを持ちその価値を生かすこ

「川根本町の地方創生元年」と位置づけ、

全力でまちづくりに取り組んでいく

④ これからのまちづくり

「心がふれあう感動のまちづくり」を町政運営の柱に掲げ、「安心して住めるまちづくり」、「農林業が元気で豊かな経験・自然を生かしたまちづくり」、「交流とふれあいのまちづくり」という3つの基本姿勢のもと、多くの皆さまとの協働・連携により持続的に栄える川根本町を創っていきたくと思います。町制施行10周年の節目の年に当たる平成27年度を「川根本町の地方創生元年」と位置づけ、町民の皆さんとともに全力でまちづくりに取り組み、「希望が見える町」、「だれもが安心して暮らせる川根本町」の実現に向け、邁進してまいります。

川根本町長

鈴木敏夫

これからも笑顔と活力があふれ、川根本町のことを誇りに思う「心がふれあう感動のまちづくり」を共に築いていきましょう。



2015

「かわねフォン」運用開始



2014

南アルプスユネスコエコパーク登録決定